学びの多様化学校
高尾山学園分校の設置について

本資料は、南大沢町会が次の資料をソースにAIで高尾山学園分校設置に関する説明資料を生成したものです。
＜ソース＞
・学びの多様化学校高尾山学園分校設置についてＱ＆Ａ
https://www.8choji.net/minamiosawa/wp1/wp-content/uploads/2026/03/takaobunkouQA.pdf
・「おいでよ！高尾山学園　転入学のご案内」
https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/kyoiku/003/003/004/p004713_d/fil/0611oideyotakaosan.pdf
・八王子市HP「八王子市立高尾山学園」
https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/kyoiku/003/003/004/index.html

作成：南大沢町会

高尾山学園とは、どのような学校か

全国初

平成16年に開校した
不登校特例校。

心の安定と自立

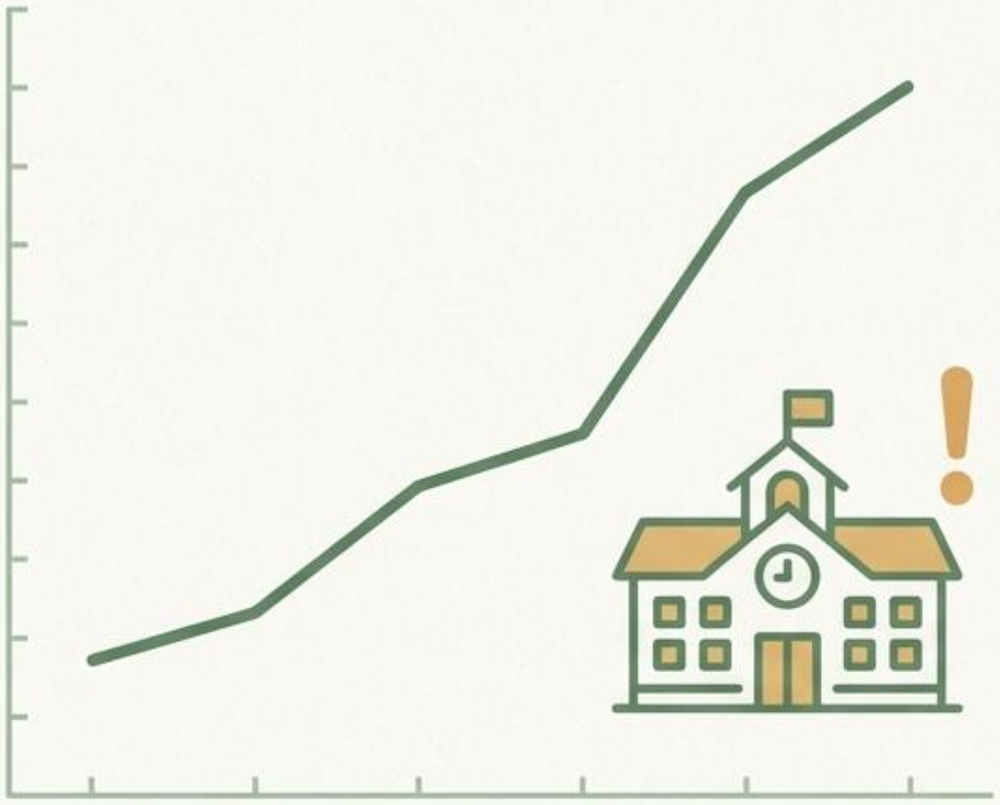
一人ひとりに応じた学習
支援と集団活動を通じた
社会的自立。

柔軟な教育課程

体験型学習を最重視し、
小・中学校を通した柔軟
な教育活動。

作成：南大沢町会

なぜ今、早急に分校が必要なのか



不登校児童・生徒数の推移

不登校児童・生徒の増加

高尾山学園への転入希望者が増加し、教室が不足。
「少人数指導ができない状況」がすでに発生。

地域的課題の解消

居住地域の距離の問題で転入学を諦めていた子どもたちへの対応。

令和9年4月の開校を目指して

増加に早急に対応するため、タイトなスケジュールでの進行が必要。多様な学びの機会を提供するための重要な施策。

作成：南大沢町会

なぜ下柚木小学校が選定されたのか

法的な制約

文部科学省の手引きにより、「中学校の敷地に中学校の分校」は原則設置不可。

↓

地域的な需要

東部地域での対象児童・生徒数の増加と人口推計。

↓

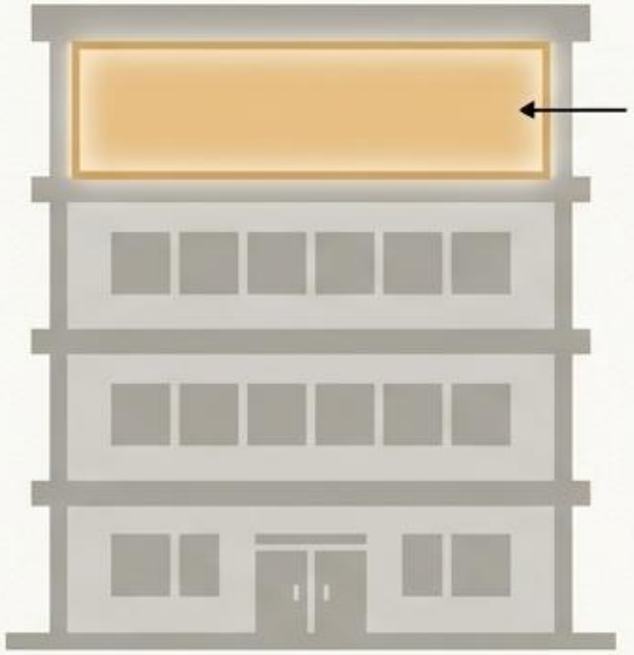
却下された選択肢

- ✕ 旧第三本松小学校はデジタルハリウッド大学が借用中。
- ✕ 旧稲荷山小学校は埋蔵文化財の保管場所として活用中。
- ✕ プレハブ建設は市民への負担軽減の観点から見送り。

✓ これらの条件と余裕教室の数を総合的に勘案し、
下柚木小学校の既存施設を有効活用する方針となりました。

作成：南大沢町会

どのような分校になるのか（施設と体制）



下柚木小学校の
「4階」に設置を想定。

※Q14/Q15から、下柚木小学校の階に対し、
そその関まる志階答をおわりいただきます。

（Q6）基ことについて

- 副校長1名、教員9名のほか、心理士、スクールソーシャルワーカーを配置。
- 相談室やプレイルームも設置。

（Q14/Q15）基さ生にによる「夢のステージ」などの設立理念を大切にし、教室のレイアウトや名称変更については、児童や教職員の皆様の思いを聞きながら一緒に考えていきます。

作成：南大沢町会

どのような子どもたちが通うのか

対象（ベース要件）

年間30日以上の欠席がある不登校生徒。

ステップ1：体験と確認

適応指導教室での体験を重ねる。

ステップ2：交流の適性

小学生と会ったり、一緒に生活したりすることに抵抗感がないかを確認。

ステップ3：最終審査と合意

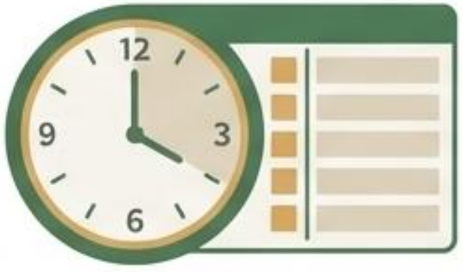
本人・保護者との面談を通じた入級審査を行い、分校のニーズに合致し、共同生活が可能な生徒のみを受け入れます。

✔ 慎重な審査を経て、安心して学べる環境を提供します。

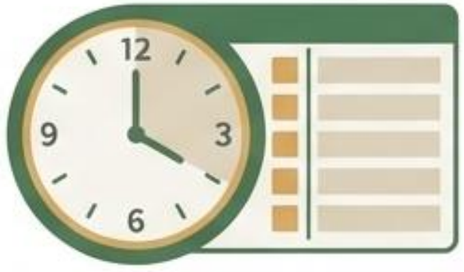
作成：南大沢町会

日々の学校生活とスケジュール

高尾山学園（本校）
通常45分授業



高尾山学園分校



下柚木小学校の生活時程（チャイム等）に合わせて生活します。

放課後の活動について

放課後の子ども教室などの活動場所が制限されることはありません。今までと同じように活動できるよう努めます。

作成：南大沢町会

新設される「適応指導教室」の共有メリット

高尾山学園 分校

分校へ転入学する前に、
環境に適応できるか
確認・体験するため

下柚木小学校

下柚木小学校の児童も
活用可能です。

適応指導教室
（仮称・きぬのみち教室）

登校が安定しなくなったり、不登校になったりした下柚木小の児童に対する
「校内別室」としての機能も持たせ、両校で調整を図ります。

作成：南大沢町会

両校の児童・生徒の交流について

接触や言葉を交わすことに制限は設けません。
小学生とコミュニケーションをとることは、
分校の生徒にとっても大切な経験となります。

不登校の要因は一人ひとり異なります。
子どもたちが互いを尊重しながら生活できる
ルールや環境を、学校と一緒に考えていきます。

作成：南大沢町会

下柚木小の教育環境の維持と向上

算数の少人数教室など、学力向上に資する「必要な少人数教室」は確実に確保します。

余裕教室の使い方は変わる部分もありますが、他校と同様の基準を満たします。
物理的・心理的な不安を最小限に抑え、双方にとって望ましい環境の提供に努めます。

作成：南大沢町会

下柚木小学校にとっての３つのメリット

不登校の未然防止ノウハウを下柚木小学校の教員に展開できます。

登校が不安定になった児童への早期支援と対応が可能になります。

多様な他者とかかわりながら生活することで、他者理解と豊かな心の醸成につながる良い環境が整います。

作成：南大沢町会

事前説明が遅れたことに関するお詫びと経緯

学校運営協議会や保護者の皆様に、事前の承認や相談なく発表されたことに対するご心配を重く受け止めております。

市全体の設置の必要性や方向性の検討が長引き、市としての政策決定が「12月末」となったため、事前にお伝えすることが難しい状況でした。

スケジュールに関する皆様のご不安を承知しております。今後は丁寧に説明を行い、ご理解いただけるよう努めてまいります。

作成：南大沢町会

登下校時の安全・安心への配慮

懸念事項

分校生徒の車での送迎と、下柚木小児童の下校時間が重なることへの懸念。

今後の対策

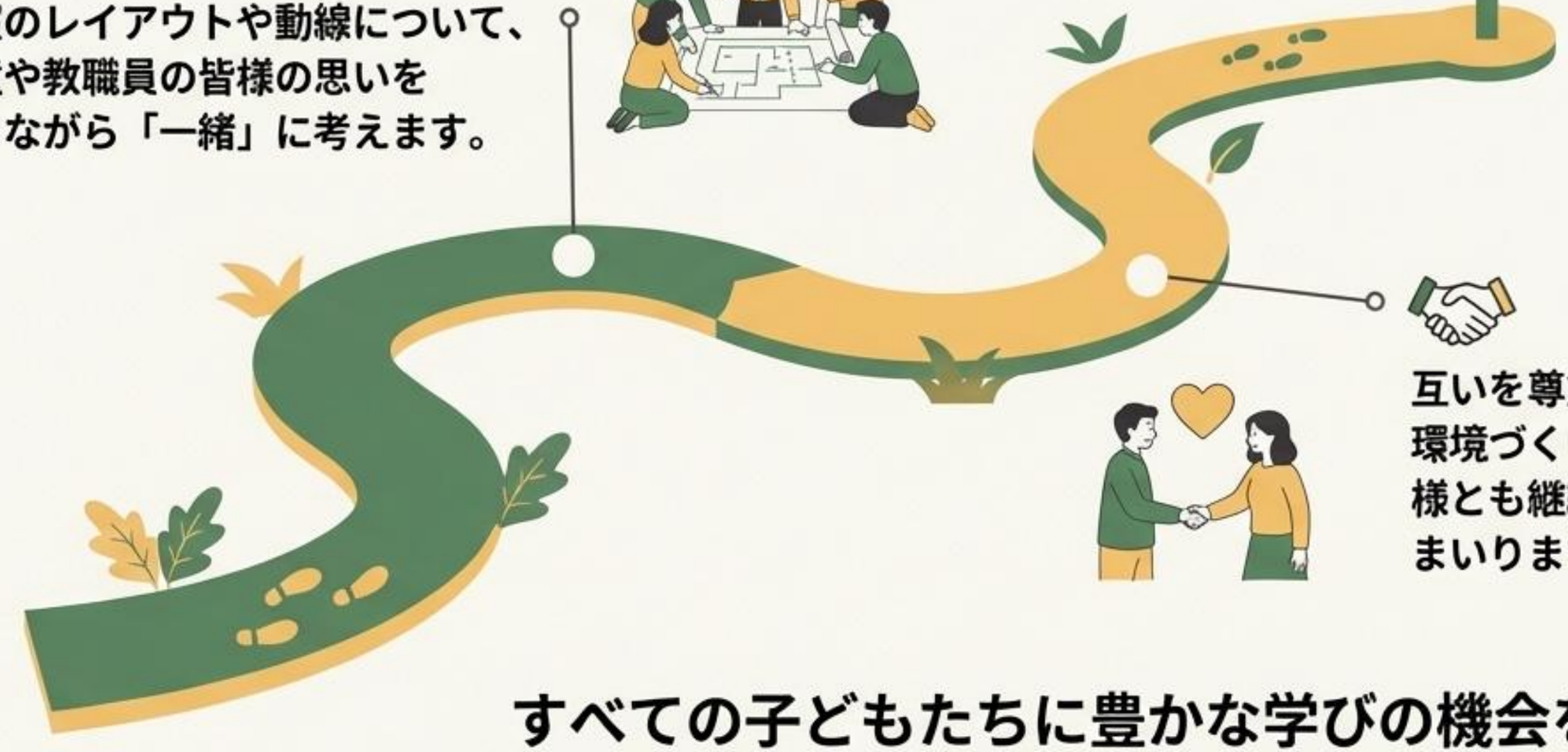
下校時間が重なることは想定されます。今後、学校側と緊密に相談させていただきながら、下柚木小学校の児童の安全が完全に確保されるようなルール・動線を検討してまいります。

作成：南大沢町会

今後のスケジュールと対話のお約束

令和9年（2027年）
４月の開校を
目指しています。

教室のレイアウトや動線について、
児童や教職員の皆様の思いを
聞きながら「一緒」に考えます。



互いを尊重しながら生活できる
環境づくりのため、保護者の皆
様とも継続的な対話を行って
まいります。

現在
(Now)

すべての子どもたちに豊かな学びの機会を提供するため、
皆様のご理解とご協力　をよろしくお願い申し上げます。

作成：南大沢町会